↓吉川農林水産大臣（左）から認定証を受け取る戸嶋町長

三方五湖での伝統漁法継承等が評価

日本農業遺産認定証授与式

平成 31 年 2 月に三方五湖地域が「日本農業遺産」に認定され、その認定証授与式が 4 月 19 日に農林水産省で開催されました。

日本農業遺産は、日本の伝統的な農林水産業を営む地域を認定するもので、三方五湖地域では、塩分濃度が異なるそれぞれの湖の特性に応じた漁業が営まれていることや、伝統的な漁法が継承されていること等が評価されました。

認定証授与式では、三方五湖世界農業遺産推進協議会副会長である戸嶋町長が認定証を受け取りました。

↑久々子湖でのししみ漁

↓大きなごみを解体し収集する参加者たち

美しい三方五湖を守るため

三方五湖一斉清掃

4 月 14 日に、三方五湖一斉清掃が行われました。

この活動は、三方五湖の環境と景観の保全を目的に三方五湖保全対策協議会が主催したもので、町内外の団体や企業等 17 団体、約 340 人が参加しました。

参加者は久々子湖や日向湖の周辺を清掃し、可燃ごみ約 570 kg、不燃ごみ約 180 kgを収集しました。

参加者の皆さん、ご協力ありがとうございました。

↓地元の食材等を求め大勢の人で賑わう会場

美浜の旬がここにある

美浜ハートフル朝市開場式

4 月 21 日に、地元でとれた新鮮野菜や魚介類等を販売する「美浜ハートフル朝市」の開場式が水神公園広場（久々子）で開催されました。

今回で 31 回目を迎えるこの朝市は、地元農家や漁業団体等で構成される朝市の会が主催しています。

会場には 100 人を超える人が訪れ、新鮮な野菜や魚介類、花鉢等の商品を買い求めていました。

↓堂々とした演技を見せる子ども役者

堂々の舞台を披露

早瀬子供歌舞伎

5 月 5 日に、日吉神社（早瀬）で山王祭礼が行われ、町の無形民俗文化財の「子供歌舞伎」が奉納されました。

当日は、午前 8 時から曳山が区内を巡行。日吉神社前に着くと、化粧を施しきらびやかな衣装をまとった子ども役者による「寿式三番叟（ことぶきしきさんばそう）」が上演されました。

凛とした子ども役者の演技に、観客からは盛大な拍手が送られました。

↓特設ステージで行われた新風によるエイサー（上）と登山口周辺に咲き誇るシャガの花（下）

歴史のロマンを感じて

佐柿国吉城まつり

5 月 5 日に、佐柿国吉城まつりが若狭国吉城歴史資料館周辺で行われました。

この催しは、国吉城とその周辺地域の歴史や自然を楽しんでもらおうと佐柿区が毎年開催しているものです。

当日は、国吉城址を通る御嶽山登山やライブイベント、記念講演、国吉うどんの振る舞い等が行われ、来場者は歴史と自然を満喫していました。

↓簡単なプログラミングソフトを使ってロボットを動かす参加者

大型連休を満喫

きいぱすフェスタ わんぱくフェアin美浜･きいぱす

5 月 3 日と 4 日に、きいぱすフェスタとわんぱくフェア in 美浜・きいぱすが、きいぱすと特設会場（丹生）で開催されました。

両会場では、きいぱすの体験プログラムや VR 体験、戦隊ショー、パドルボート・アクアロール体験等が催され、大型連休を利用して訪れた参加者約 14,500 人は思い思いに楽しんでいました。

↓県の無形民俗文化財に指定されている「王の舞」

能舞堂にて王が舞う

弥美神社例大祭

5 月 1 日に、地区の安泰と五穀豊穣を祈願する例大祭が弥美神社（宮代）で行われました。

令和初となる例大祭では、降雨の影響で「王の舞」が 34 年ぶりに能舞堂で奉納されました。

そのほか、佐柿区と坂尻区自治会による「幣（へい）押し」や上野区による「獅子舞」等が奉納され、訪れた観客を楽しませていました。

すこやか放送局

健康・福祉・子育てに関する情報をお知らせします。

健診の申し込みはお済みですか？

皆さんは健診の申し込みを済まされましたか？

自分では元気だと思っていても、急に病気が発覚することもあります。定期的に健診を受診して、自分の体をしっかりとチェックしましょう。

■１日でまとめて受診する「集団健診」がおすすめです

町では、複数の健診をまとめて受診できる「集団健診」を定期的に実施しており、対象となる方には、個別に健診受診希望調査票を送付しています。

まだ申し込みがお済みでない方は、町健康づくり課まで申し込みをお願いします。

集団健診実施日

日　程	会　場	受付時間	特定健診 長寿健診 フレッシュ健診 一般健診	がん検診				
				肺	胃	大腸	子宮	乳
6月17日(月)	体育センター	8:30～10:00	●	●	●	●		
		13:00～13:50				●	●	●
6月22日(土)	東部診療所	8:00～10:00	●	●	●	●		
		13:00～13:50				●	●	●
7月9日(火)	はあとぴあ	8:30～10:00	●	●	●	●		
7月27日(土)	はあとぴあ ※午後からレディース健診	8:30～10:00	●	●	●	●		
		13:00～13:50	●	●		●	●	●

風しんの予防接種を受けましょう

町では、風しんの予防接種を受けていない方を対象に、風しんに係る定期の予防接種を実施します。

●接種対象者　①抗体検査・予防接種の実施日に美浜町に住民票を有する方
②昭和 37 年 4 月 2 日～昭和 54 年 4 月 1 日までの間に生まれた男性
※今年度は昭和 47 年 4 月 2 日～昭和 54 年 4 月 1 日までに生まれた男性を対象に通知しています。

●実施期限　令和 4 年 3 月 31 日まで

●クーポン有効期限　令和 2 年 2 月 29 日まで　※クーポン券は毎年度発行します。

●実施場所　医療機関の他、事業所健診や特定健診の機会に受けることができます。
抗体検査・予防接種を受ける際には、医療機関や事業所へ事前に確認の上、必ずクーポン券を持参してください。

注意　風しんの抗体検査・予防接種を受けるには、クーポン券の持参が必要です。個別に通知されていない対象の方で予防接種等を希望される方は、町健康づくり課までお問い合わせください。

※お問い合わせ先　町健康づくり課（担当・兵田）　☎32－6713

おそとであそぼ！

子どもは、お散歩や外遊びが大好きですよね。道や公園で普段目にしないものを見つけて「なんだろう？」とドキドキしたり、自然に触れて心が解放されたりすることで、子どもの感性は豊かになります。夕焼けの色や風の強さが毎日違うように、自然は多様性に富んでいて、日々変化し同じ姿を見せることはありません。

子どもは、見える物、聞こえる音だけでなく、肌で感じる風や空気の匂いの変化にも敏感です。子どもが発見した事、感動した事に気付き「お花きれいだね」「カエルが跳んだね」等と言葉にして共感してあげてください。

そのような経験を繰り返す中で、感動を分かち合う喜びを知り、発見した事や驚いた事を人に伝えようとするようになります。

6月は雨が多い季節ですが、子どもたちは雨上がりに長靴を履き水たまりで遊ぶのが大好きです。カエルやオタマジャクシ等の生き物にも出合えるかもしれません。

子育て支援センターでは、天気の良い日にみんなで散歩に出掛けています。保護者同士で会話を楽しみながら、歩いてリフレッシュしたり、地域の人たちや動物との出合いが生まれたりしています。ぜひ遊びに来てくださいね！

※お問い合わせ先
子育て支援センター(担当･宇佐美) ☎32－0192

地域包括ケアシステムの実現に向けて

地域包括ケアシステムって？

昨今、新聞等で報道されているとおり、日本では諸外国に例をみない早さで高齢化が進行しており、国の社会保障制度の持続が危ぶまれています。

国では、人生90年時代にふさわしい社会への転換を推し進めています。具体的には、高齢者になっても住み慣れた地域で、最期まで自立した生活ができるよう、必要な医療、介護、福祉サービス等を一体的に提供し、すべての世代で支え合っていく社会です。

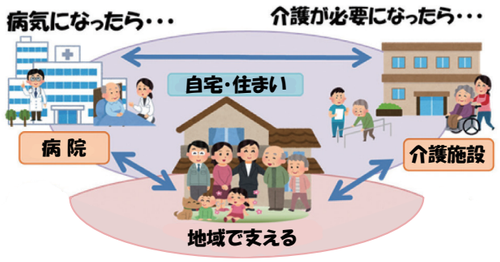
この社会をつくるための仕組みを「地域包括ケアシステム」といいます。全国の市区町村では現在、それぞれの地域に合った「地域包括ケアシステム」の構築に取り組んでいます。

※お問い合わせ先
町福祉課　高齢者支援センター(担当･藤木)
☎32－6704

地域包括ケアシステムのポイントは「互助」と「自助」

社会福祉は「自助･互助･共助･公助」の４つを、バランスよく組み合わせて行われてきました。

今後は「地域包括ケアシステム」の考え方に則り、地元やボランティア、NPO等、住民同士で支えあう「互助」と、普段から自分の健康に注意を払い、自立した生活を維持する「自助」の役割が一層高まっていきます。



↑地域包括ケアシステムのイメージ図

ふるさと昔よもやま話 (86)

大宰府と梅花の宴

4月1日、新元号「令和」が発表され、国書からの初めての出典に日本中が湧きました。確かに典拠となった『万葉集』は日本最古の歌集ですが、それが本当に日本的なものからの引用なのかという少し微妙です。新元号の引用箇所は、巻五「梅花の歌三十二首」（八一五～八四六）の前に付した「序」であり、それは漢文で書かれています。しかもその「初春の令月にして、気淑く風和ぐ」というくだりは『万葉集』独自のものではなく、中国の詩文集『文選』の「是ニ仲春ノ令月ニシテ、時和カニ気清メリ」を典拠にしているとされています。王羲之の「蘭亭序」を下敷きにしているともいわれています。

また、梅にしても中国原産の植物であり、万葉の時代、おそらくそれは輸入されたばかりの流行の花でした。『万葉集』に収められた梅の歌119首を概観してみると、貴族たちの庭園に梅が植えられ、それを賞美する宴が催されていたことが分かります。そのような宴の席で梅を歌に詠むこともまた、中国詩宴を模しており、白梅を雪に擬えたり、柳や鶯と取り合わせたりする歌の表現にも、漢籍の影響がうかがえます。

とはいえ、すべてが中国風であったわけではありません。梅が「折る」「かざす」「遊ぶ」等の語とともに多くうたわれているのは、梅の枝を折り挿頭にして、その生命力を身にまとう祭祀的な儀礼があったことを示しています。32首のうち、山上憶良の歌「春されればまづ咲くやどの梅の花ひとり見つつや春日暮さむ」（八一八）では、その前歌に詠まれた「園」をやまと言葉である「やど」に変えており、「ひとり見つつ」とうたう背景には、日本的な「妹背」の関係が詠み込まれています。こんなに素晴らしい梅の花をひとりで見てよいものか、一緒に眺めようと仲間を誘っているように見せかけて、2年前に妻を亡くし「ひとり」でいる、梅花の宴の主大伴旅人の心情を思いやってもいます。

さらにその「妹」への思いは「妹が家に雪かも降ると見るまでにここだもまがふ梅の花かも」（八四四）の歌に引き継がれ、冒頭の「妹が家」はその前歌の末句「都しぞ思ふ」という、望郷の念から連想されたものでした。

つまり、「序」に続く梅花の歌は、表面的には漢詩の影響を受けながら、その根底には、妻を都に残してきた大宰府官人たちの嘆きがありました。まさに中国文化を日本風に「翻訳」した文化が、大宰府に花開いていたのです。

（明治大学兼任講師 堂野前 彰子）

↑大宰府政庁跡（堂野前彰子氏提供）

文芸欄

短歌

かをり歌会美浜支部

大粒の霰が屋根を打つ音に
幼も声出す四月の夜に
川﨑　和美（久々子）

耳悪し我を気遣ひ呉れし人
今日一日の縁結びて
松下　幸子（久々子）

新しい元号令和に我等には
親しみやすい世の中になれ
森田　岩太（佐　野）

登下校迎への祖母の姿無く
案ずる孫は家路を急ぐ
高木　勝美（新　庄）

春の陽の海辺の道を車椅子
乗る夫押す妻同じ花見る
田波　耕（竹　波）

満開の桜の季節めでたきは
新元号の定まり嬉し
山本　善昭（竹　波）

山の木木は芽吹きて四月入り
咲きしレンゲ田田起こし進む
成田　和夫（中　寺）

妻と二人車で出かける投票所
沿道の桜満開の中
亀谷　茂（早　瀬）

内親王と同じ名持つは不遜とふ
伯母に反発過ぎし日思ふ
岸本　和子（松　原）

白樺のほほえみ帝をねぎらはる
そのお姿に国民は癒さる
三宅　宏（大　藪）

ハートフル広場

慶弔

4/1～4/30 受付分
（敬称略）

◎ご誕生

氏　名	性別	父・母	住　所
佐々木　真帆	女	優介・聖子	佐　田
中面谷　夏芽	女	直輝・志穂	佐　田
柴　田　大瑚	男	一輝・鮎美	久々子
梅　木　一翔	男	陽一・麻希	丹　生

◎ご結婚

氏　名（旧姓）	住　所
杉　木　利　至　＆　（車　田）　阿　弓	中　寺

◎おくやみ

氏　名	住　所	年齢	届出人
若　山　二三枝	佐　田	90	木　戸　朝　子
田　中　和　子	竹　波	73	田　中　啓　子
藤　長　和　夫	宮　代	87	藤　長　博　和
島　田　フミノ	栄	86	島　田　政　宏
吉　畑　み　ち	河原市	93	岡　崎　克　己
梅　津　友　幸	菅　浜	41	梅　津　敏　雄
髙　橋　　茂	日　向	86	髙　橋　延　明
藤　原　久　美	和　田	48	藤　原　章　裕
大　同　　隆	木　野	82	大　同　昌　美
田　辺　譲　治	日　向	85	田　辺　洋　子
山　口　君　代	大　藪	83	山　口　　寛

わが家のアイドル

北川　雄也 さん・真美 さん
（佐田）の長男

陸斗 ちゃん（1歳2ヶ月）

ニックネームはりっくんだよ！りっくんって呼ばれるとニコニコしちゃうよ！最近は、公園でパパとママと遊ぶのが楽しいんだ～❤

人が大好きで、誰にでもトコトコ近寄っていくよ！ペタペタ触るけど許してね！

町人さん

織田神社例大祭で「王の舞」の舞い手を務められた

辻原　壮真 さん（佐田）

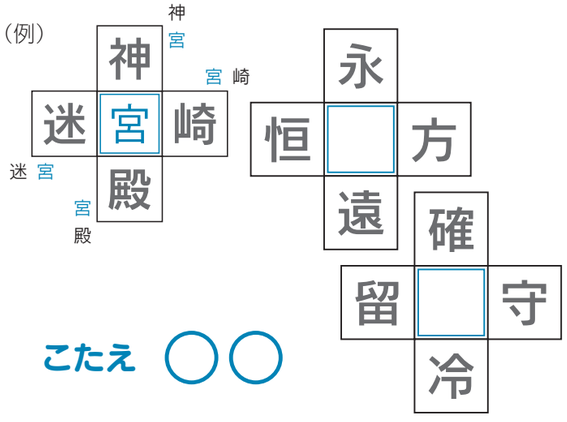
＊舞い手に決まった時どのように思いましたか？
昔から憧れていたので、とてもうれしかったです。

＊本番を迎えるまでに苦労したことはなんですか？
練習が大変でした。
特に、王の舞の振り付けを覚えるのはとても苦労しました。

＊王の舞を終えてどのような気持ちですか？
最初はとても緊張していたけど、途中からは緊張も解けて、思い切り王の舞を披露することができました。
練習でしてきたことをしっかり出せて、ほっとしています。

広報みはま・ハートフルクイズ

（例）



こたえ ○○

●応募方法
クロスの真ん中（2重枠内）に漢字1文字入れると4つの2文字言葉が完成します。
2つのクロスを解き、使った2つの漢字で美浜町の土地・地区・場所の名称をつくってください。
はがきに、答えと住所、氏名（お便りも大歓迎！）を書いて、「広報みはまハートフルクイズ」係（〒919－1192美浜町郷市25-25）まで送ってください。
メールで応募される方は、次のアドレスに送信してください。
【メールアドレス】
kouhou-mihama@town.fukui-mihama.lg.jp

【QRコード】

締切りは、6月10日(月)(消印有効)です。正解者の中から抽選で5人の方に記念品をお送りします。

●5月号の答え　上野
●応募者総数は13人で全員正解でした。当選の発表は、記念品の発送をもってかえさせていただきます。

広報みはま No.581
発行：美浜町　編集：まちづくり推進課　〒919-1192 福井県三方郡美浜町郷市25-25
TEL.0770-32-6701
FAX.0770-32-1115
URL http://www.town.mihama.fukui.jp/
✉ machidukuri@town.fukui-mihama.lg.jp

■くらしのカレンダー■

令和元年6月

1（土）	美浜西小学校体育大会(美浜西小学校グラウンド) 美浜中央小学校体育大会 (美浜中央小学校グラウンド)
2（日）	8:00～ハートフル朝市(久々子水神公園広場)
3（月）	
4（火）	10:00～ミニさくらんぼ(けやき台第1集会所) 13:00～心配ごと相談(はあとぴあ) 13:30～「心の相談室」※障がい者(児)相談 (はあとぴあ)
5（水）	10:00～さくらんぼひろば 「みんなあつまれ！ちびっこうんどうかい」 (はあとぴあ)※11頁参照
6（木）	8:30～住民健診[特定健診、肝炎、肺・胃・大腸・前立腺がん検診](はあとぴあ) 13:00～住民健診[大腸・子宮・乳がん検診] (はあとぴあ) 古紙（耳地区:河原市・南市・栄区を除く）
7（金）	
8（土）	美浜東小学校体育大会(美浜東小学校グラウンド)
9（日）	8:00～クリーンアップふくい大作戦in美浜 (町内各地) 8:00～ハートフル朝市(久々子水神公園広場) 8:30～町民ゲートボール大会 (西郷健康ひろば:予備日7月14日) 8:30～ごみ(可燃・生・不燃・資源)休日受入 (～12:00 エコクル美方)
10（月）	
11（火）	9:30～保育園開放(みずうみ保育園) 13:00～心配ごと相談(はあとぴあ) 13:00～司法書士法律相談(はあとぴあ)
12（水）	9:30～保育園開放(あおなみ保育園) 古紙（北・南地区）
13（木）	9:30～保育園開放(せせらぎ保育園) 13:30～育児学級(はあとぴあ) 19:30～町民人権講座(なびあす) 古紙（河原市・南市・栄区）
14（金）	
15（土）	10:00～みはま土曜歴文講座(歴史文化館)
16（日）	8:00～ハートフル朝市(久々子水神公園広場) 8:00～町民ソフトボール大会 (総合運動公園運動場:予備日23日) 14:00～ホロデンコ ピアノ・リサイタル(なびあす)
17（月）	8:30～住民健診[特定健診、肝炎、肺・胃・大腸・前立腺がん検診](体育センター) 13:00～住民健診[大腸・子宮・乳がん検診、骨密度検査](体育センター)
18（火）	13:00～心配ごと相談(はあとぴあ) 13:30～「心の相談室」※障がい者(児)相談 (はあとぴあ)
19（水）	10:00～育児講座 「救命救急士さんのおはなし」 (はあとぴあ)※11頁参照 古紙（東地区）
20（木）	
21（金）	
22（土）	8:00～住民健診[特定健診、肝炎、肺・胃・大腸・前立腺がん検診](東部診療所) 13:00～住民健診[大腸・子宮・乳がん検診 歯科健診](東部診療所) 14:00～志村泉 ピアノリサイタル(なびあす)
23（日）	8:00～ハートフル朝市(久々子水神公園広場) 8:30～ごみ(可燃・生・不燃・資源)休日受入 (～12:00 エコクル美方)
24（月）	
25（火）	13:00～心配ごと相談(はあとぴあ)
26（水）	
27（木）	10:00～2歳児教室(はあとぴあ) 13:00～3歳児健診(はあとぴあ)
28（金）	13:30～離乳食講習会(はあとぴあ)
29（土）	13:30～みはま土曜歴文講座(歴史文化館)
30（日）	8:00～ハートフル朝市(久々子水神公園広場)

6月の納税［納期限 7/1(月)］　※納付は口座振替が便利です。
町県民税（1期）

●イベント　●健康診査・検診　●子ども行事　●ごみ・資源回収
●行事の予定は、5月16日現在のものです。一部変更になる場合がありますので事前にご確認ください。
●□網かけの日は、役場はお休みです。
●古紙は古紙回収日、後に続く（　）内は回収地区です。
●休日の当番医に関するお問い合わせ先　町役場 ☎32-1111（代表）　美浜消防署 ☎32-1190

こんにちは まちづくり推進課です。

広報担当になって約1か月半が過ぎました。写真の撮影や記事の作成等、覚えていくことがたくさんあり、目まぐるしい毎日を過ごしています。

一方で、今まで知らなかった出来事や行ったことのなかったイベント等に足を運ぶ機会が多くなりました。取材をとおして美浜の新しいことを知ることができ、非常に楽しくもあります。

広報をご覧になる皆さんにも美浜町の新しい情報を伝えられるよう、広報誌作成に努めていきたいと思います。（規）

▽表紙の写真

5月11日に行われた織田神社例大祭でのお神輿の様子です。佐田区の男衆が大きな声をあげながら練り歩きました。

神輿を担いで階段を駆け上がると、観客からは大きな歓声が上がりました。

※お詫びと訂正

広報みはま5月号5頁の「ほほえみ」の開館日に誤りがありました。正しくは次のとおりです。

誤：4月27日、29日、30日
　　5月1日～4日

正：4月27日、29日、30日
　　5月1日～4日、6日

関係者の皆様方にご迷惑をおかけしたことをお詫びし、訂正させていただきます。

人口の動き

	前月比
人口総数 9,462人	（＋ 3）
男 4,625人	（＋ 1）
女 4,837人	（＋ 2）
世帯数 3,673世帯	（＋ 1）

令和元年5月1日現在